

長浜バイオ大学開学10周年記念シンポジウム

# 市民ネットワークによる カスミサンショウウオの保護

長浜バイオ大学  
アニマルバイオサイエンス学科  
齊藤 修

# 長浜バイオ大近くの低山の麓に カスミサンショウウオの繁殖地がある

2005年3月、大学近くの低山(標高138m)の麓の水路にカスミサンショウウオの卵塊を見つけた。



サンショウウオの卵塊

# カスミサンショウウオ

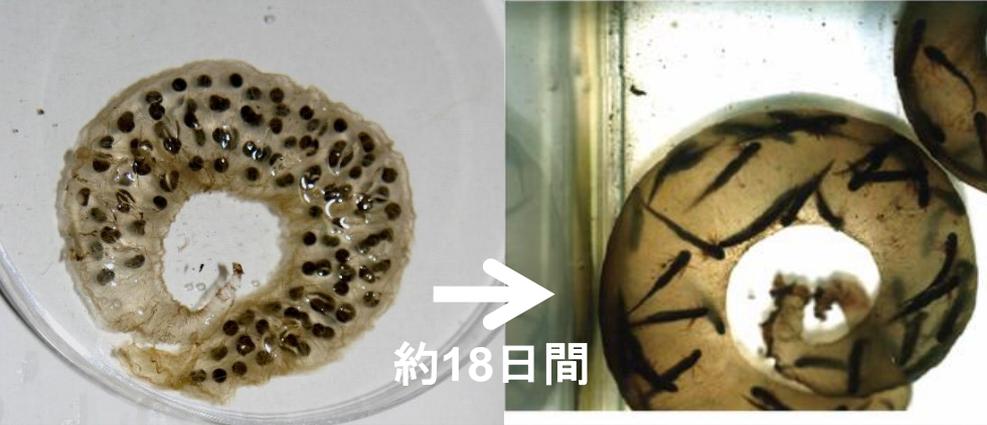


日本に20種近く生息する小型サンショウウオの1種。愛知県以西の本州、四国、九州の一部に分布し、丘陵地から山地で生活する。12-5月上旬に湿地、水田の溝、浅い池や沼などで繁殖。その生息域がヒトの生活圏に近く、様々な地域で土地開発などが原因となり、絶滅が危惧される種類や地域個体群が多い。滋賀県では、3番めに絶滅が危惧される希少種。

# 早春に産卵、卵塊の近くには親サンショウウオ



この時期だけは、成体のサンショウウオが水辺に下りて集まって来るので、運が良ければ卵のそばにいる親サンショウウオに会うことが出来る。



3, 4月に卵が孵化して幼生が出てくる。  
7月下旬まで水路で成長した後、上陸。



2009年5月、水路の水が枯れ、全幼生(約5000匹)が死滅。

# 私たちにできること

私たちが暮らしています湖北の地は、豊かな自然に恵まれた地域の一つです。そして、この地域が豊かな人間性を育てる魅力ある社会であり続けるには、この地にもともと存在した豊かな自然や多種多様な生物相を出来るだけ保全・維持して次世代に伝え、残し、共存・共生しながら成長してゆくことが、この地で様々な活動を営み、暮らし生活する私たちにとって課されている大きな課題の一つです

# 私たちにできること

- ・地域の多くの人たちは、カスミサンショウウオという希少種がいる事を知らないだろう。
- ・おそらく元々は何らかの水場があったが、そこが水路に換わり、サンショウウオはその水路で生き続けてきたが、水路崩壊によって、絶滅しそうであるということを、多く人は知らないだろう。
- ・サンショウウオを保護して次世代に残していくには、多くの地元の人たち、そして若い人たちの理解と協力が必要だろう。
- ・生息地は人家に近く、保護し次世代に残していくには、隔離ではなく、共存・共生の方策を考えねばならないだろう。



# 「田村山生き物ネットワーク」

## —南長浜「田村山」周辺の自然と人々の共生を目指す連絡会議—

役員メンバー: 地元自治会代表者、地元教育・医療・事業者、  
六荘地区地域づくり協議会役員、行政関係。平成22年11月24日設立。

この会は、長浜市南地域で『田村山』周辺を中心とし、野生の状態で生き続けている動植物(特に、希少種のカスミサンショウウオ)を保護していくことを目的とし、併せて、自然と人間とが共存していくことができることの実証を追及していくこととする。

この会は、目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 自然環境保全のための調査・研究に関すること
- (2) カスミサンショウウオの保護に関すること
- (3) 会員相互の情報交換に関すること
- (4) その他目的達成のために必要な事項に関すること

連絡先	(会長・事務局長 連絡先)
会長	長浜バイオ大学バイオサイエンス学部 教授 齊藤 修(サイトウ オサム) 電話 0749-64-8165(直) 0749-64-8100(代)
事務局長	(株) 長住建設
取締役会長	松居 繁 隆 電話 0749-63-1620



# 保護に向けての取り組み

- (1) 田村山サンショウウオの個体群動態と生活史の調査。
- (2) 幼生の保護と人工飼育(飼育法の確立)。
- (3) 県内の他地域のカスミサンショウウオと遺伝的にどの程度異っているか。保全単位を知る。
  - ・県内他集団の探索
  - ・遺伝的系統解析
- (4) 水枯れ対策活動。
  - ・水供給
  - ・水揚げポンプ設置(長浜市補助金)
  - ・水路補修
- (5) 生息水路の保全
  - ・ザリガニ駆除作戦
  - ・啓発看板(長浜市補助金)
- (6) 近くに住む人々への周知、次世代を担う子供たちへの啓発活動。
  - ・カスミサンショウウオを守ろう！ 学習会
  - ・南小学校水生生物クラブ、虎姫高校科学探求部、米原高校生物クラブ
- (7) 保護池の造成
  - ・バイオ大実験池(長浜バイオ大、須磨海浜水族園)
  - ・保護池造成(平和堂財団・夏原グラント)

# 保護に向けての取り組み

## (3) 遺伝的系統解析



# 滋賀県には地域集団化した5系統のカスミサンショウウオ

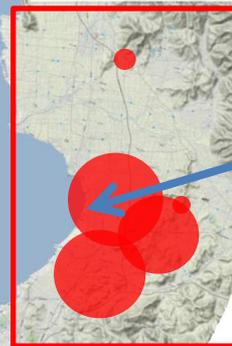
県内に19カ所の繁殖地を発見。  
150以上の遺伝子解析。

4: 高島グループ



高島

1: 長浜・米原グループ



南長浜  
特徴的な集団

長浜・米原

5: 大津グループ



大津

2: 甲賀1グループ



甲賀

3: 甲賀2グループ

小集団ごとにハプロタイプの  
構成が違う

円は集団の規模を表している

# 保護に向けての取り組み

## (4) 水枯れ対策活動



# 水枯れ対策活動(水供給)



雨が降らないと、1tの水を入れても2日でなくなる。頻繁な水供給が必要。<sup>13</sup>

# 水枯れ対策活動(水揚げポンプ設置)



H23年度長浜市市民活動団体支援事業補助金

1. 啓発看板3枚の設置。

2. 水揚げポンプの設置。

# U字溝の継ぎ目が大きく空いてきた



継ぎ目から水が漏れる。

# 水枯れ対策活動(水路補修)

H23. 10. 29



# 保護に向けての取り組み

## (5) 生息水路の保全



# 生息水路の保全（ザリガニ駆除作戦）

H25. 7月



# 保護に向けての取り組み

(6) 近くに住む人々への周知、  
次世代を担う子供たちへの啓発活動



# 第3回カスミサンショウウオを守ろう！ 学習会

平成24年12月9日(日)AM 10:00

長浜バイオ大学 大講義室1 (2階)

1 開会あいさつ 齊藤 修 会長

2 来賓あいさつ

三輪正直 長浜バイオ大学学長

3 学習会

(1) 「田川町におけるカスミサンショウウオの生態を探る」について  
県立虎姫高等学校 科学探究部 西堀功規、西村陽、藤居駿生

(2) 「米原高校周辺のカスミサンショウウオ」について  
県立米原高等学校 生物部 和田聖貴、飛田圭希、酒居瑛里佳

(3) 「守れ！ふるさとのカスミサンショウウオ  
～保護活動と遺伝的多様性の解析Ⅲ～」について  
岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班 二村凌、橋晃太

(4) 「長浜市南部のカスミサンショウウオ集団の生態調査と遺伝系統解析」について  
長浜バイオ大学 大学院 水戸直、島田歩

(5) 「カスミサンショウウオの生息池計画等」について  
県立大学 環境科学部 村上研究室

4 その他

5 閉会あいさつ



# 保護に向けての取り組み

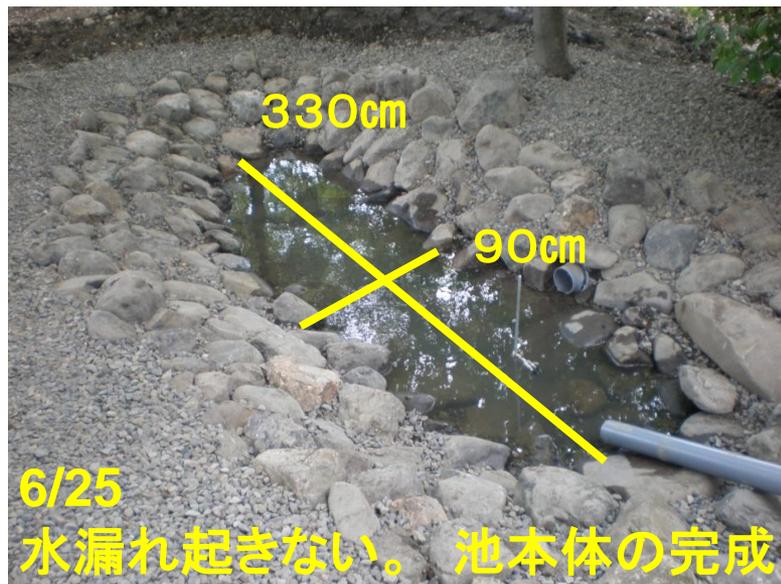
## (7) 保護池の造成



# 長浜バイオ大のサンショウウオ実験池

(長浜バイオ大、須磨海浜水族園 助成)

平成23年



放流から2年、ついにバイオ大実験池で成長した個体が池に戻って来て、産卵。



今後、次世代にカスミサンショウウオを残す為に、保護池造成に向け動き始めます。多くの方々の御理解・御協力が必要です。  
よろしくお願い致します。





at 第8回森づくり交流会 (H25.10.5)